

一般質問事項一覧

12月9日(月)

質問者	質問方式	質問概要
廣瀬(新風会・公明党)	一括質問・答弁方式	<p>1 大野市の教育環境の在り方について</p> <p>○ 来年の年明け以降、学校再編の見直しをどのように進めていく予定か。</p> <p>○ 乾側小学校以外の学校については、耐震対策が10年程度前までに済んでいると思うが、なぜこのタイミングで乾側小学校の耐震対策が取られるのか。これまでの経緯、教育委員会としての対応はどうなっていたのか。</p> <p>2 児童・生徒の負担軽減、教職員の働き方改革について</p> <p>○ 児童・生徒の負担軽減、教職員の働き方改革という点から、平成30年度、31年度に削減したり、変更したりした行事などは何か。</p> <p>○ 令和2年度に削減、変更する予定の行事などはあるか。</p>

質問者	質問方式	質問概要
木戸屋（未来おおの）	一問一答方式	<p>1 学校再編計画の見直しについて</p> <p>市長の公約でもある学校再編計画の見直しに向けて、教育委員会が本年度予定していたシンポジウム、意見交換会、小中学生へのアンケートの三つの取り組みが全て終了した。これらの取り組みの中で教育委員会が答弁されていることに関して、以下の点について質問をする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 平成29年1月に出された学校再編計画の見直しをするというのは、どの点についての見直しをするのか。 答弁の中に「学校は、『ある程度の規模』は必要」という言葉が幾つかあるが、「ある程度の規模」とはどのような状態を示しているのか。 来年度、計画案を検討する組織の編成は、どのような点に配慮するのか。
		<p>2 災害に強いまちづくりについて</p> <p>先般の台風19号により甚大な被害が起き、多数の死傷者も出た。大野市においても台風等による水害が発生するリスクは、かなり高い。市長の重点施策である「災害に強いまちづくり」を実現するために、全庁挙げて取り組むことが大切であると考えます。そこで、水害を想定しての以下の点について質問をする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 市民に対する緊急連絡の方法はどのようなものがあるのか。またその中で、最も有効で今後強化していく連絡方法は何か。 水害等の発生を想定した市役所職員の連絡体制、緊急行動、避難所開設等の訓練は行っているのか。 今年度作製する予定の防災マップの改良点は何か。

質問者	質問方式	質問概要
林 (新風会・公明党)	一括質問・答弁方式	<p>1 令和2年度当初予算編成方針について</p> <p>時代の変化が激しく財政状況も厳しい中において効率的な行政運営を行うためには、市長をトップとする行政全体が今まで以上に地域や民間事業者の協力、市民の信頼を得て、職員自らも地域に飛び出して課題を共有し、解決に向かって一緒に取り組む姿勢が求められる。本年10月に公表された「大野市職員による不祥事の再発防止策」の徹底はもちろん大事だが、職員を孤立させず、職員の力を生かしマネジメントする組織の力がより重要と考える。</p> <p>そんな中、中部縦貫自動車道の整備にかかる総事業費が大幅増加となることが発表され、県内全線開通を最大のチャンスと捉える石山市政が今後のまちづくりをどう進めていくのか、明確な方向性が求められる。</p> <p>市長は提案理由説明の中で、令和2年度は、第五次大野市総合計画の最終年として各種施策を総仕上げし、第六次大野市総合計画につなげる重要な年度と位置付けており、当初予算編成の基本方針に基づき各部署における予算編成が進んでいくことになる。今回提出の他の議案も多くは令和2年度予算に影響することから、質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第五次大野市総合計画の将来像「ひかりかがやき、たくましく、心ふれあうまち」実現の姿を、石山市長はどう描いているのか。 ○ 全職員が行政の基本に立ち、限られた財源の中で全庁的な視点で事業の選択と構築を徹底するとあるが、何を求めているのか。 ○ 市民の生命と財産を守る上で欠かせない「防災」、人のつながりや協働による「地域づくり」、越前おおのブランド戦略に掲げる「稼ぐ力」向上に向けた、それぞれの施策の課題をどう捉え、何に重点を置いて取り組んでいく方針か。 ○ 予算編成の過程において廃止する事業、補助金等がある場合の判断は、どのように行い、関係者へはどう周知するのか。

質問者	質問方式	質問概要
堀田（清風会）	一括質問・答弁方式	<p>1 小中学校再編計画の見直しについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教育環境に係る意見交換会が終了したが、その意見内容と学校再編の見直しのスケジュールは。 ○ 昨年の市長選挙期間中、大野市の小中学校再編についての新聞アンケート結果がある。教育環境に係る意見交換会が終了する中で、こういった課題についての今後の対応と市民への発信は。 ○ 平成29年9月定例会において、小中学校再編に関する要望書が5件提出されている。その中で尚徳中学校が築58年経過し不安があり、その対応の要望がある。すぐに何らかの対応を取る必要があると思うが。 ○ 学校の耐用年数は、どれくらい在ると考えているのか。 ○ 現在の小中学校の空き教室の状況は。
		<p>2 ICT教育及び学校でのICT活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校現場のICT環境を充実させる必要があると考えるが、所見は。 ○ 児童・生徒の「情報能力活用」について、課題を含めてどう受け取っているのか。子どもたちの傾向は。また課題がある場合、どのように対処していくのか。 ○ 教員のICT教育への対応力の向上の取り組みは。 ○ 教員の負担軽減と、子どもに向き合う時間の確保のために「校務管理システム」の導入の検討は。 ○ 国の整備計画を踏まえ、ICT環境の整備を加速するべきと考えるが、現在のPC台数は。 ○ 各学校へのタブレット端末の整備を進めては。 ○ 国の整備計画では、教室にWi-Fi環境を整えるとあるが。

質問者	質問方式	質問概要
伊東（新風会・公明党）	一問一答方式	<p>1 予防接種について</p> <p>現在、大野市においては市民の健康への意識を高めていくため、「健康のまちづくり」に取り組んでいます。いつまでも健康でイキイキと暮らせるように、予防医学の観点から3点質問させていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者に対する肺炎球菌感染予防ワクチンの定期接種について、平成26年度から平成30年度までの5年間の経過措置として65歳から5歳刻みの年齢の高齢者を対象としているが、周知も含め、どのように取り組んできたのか。また接種率向上に向けた今後の取り組みについて伺う。 ○ ロタウイルスワクチンが令和2年10月より定期接種となるが、大野市としてどのように取り組んでいくのか。また定期接種の対象とならない子どもについて、任意接種の助成を実施してはどうか。 ○ 昭和37年度から昭和53年度生まれまでの男性に、風しんの抗体検査と予防接種を勧めているが、現在の接種率や今後の取り組みについて伺う。 <p>2 子育て支援について</p> <p>本年10月1日より、「幼児教育・保育の無償化」が始まり、2カ月が経過しましたが、「保育の質」の問題や保育士不足などの課題が指摘されています。保育施設の事業所、利用者それぞれのご意見やご要望をお聞きし、3点質問させていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 保育の質の向上のために、保育士のスキルアップが必要だと考えるが、そのために市が行っていることはあるのか。 ○ 民間の保育所・認定こども園では保育士が不足し、市外への研修に行くことが困難だったり、未満児の受け入れが難しくなるなど、支障が出てきている。公立と民間とが歩調を合わせていく上で、保育士確保のための処遇改善など、市が補っていけないことはないか。また、石山市長が掲げる「大野市子育て世代支援パッケージ」の中に、反映させていくことはできないか。 ○ 保育所、認定こども園の活動や保護者等への支援に対し、市独自の特徴ある子育て支援が望まれるが、「大野市子育て世代支援パッケージ」の中でどのように盛り込んでいくのか。

質問者	質問方式	質問概要
白 崎 (新 風 会 ・ 公 明 党)	一 問 一 答 方 式	<p>1 第五次大野市総合計画に対する市民評価について</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地区別ワークショップでの第五次大野市総合計画の満足度について、満足度が高かった分野、満足度が低かった分野はどのようになっているか。 ○ それらの満足度について、今後どのように捉え、どのように分析していくのか。 ○ 今回のワークショップで得た意見を第六次大野市総合計画にどのように反映させていく予定なのか。
		<p>2 プレミアム付商品券について</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全国的に申請割合が低いと言われているが、大野市内におけるプレミアム付商品券の購入引き換えはどうか。 ○ 住民税非課税者分と子育て世帯分の世帯数と申請世帯数、引き換え世帯数の内訳はそれぞれどうなっているか。 ○ 申請期間、引き換え期間はどのように設定されているか。 ○ 大野市としてこの現状をどのように分析しているか。
		<p>3 まちなか循環バス及び乗合タクシーについて</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ まちなか循環バス及び乗合タクシーの利用状況についてどのようになっているか。それぞれの利用者数の推移や利用者層はどのようになっているか。 ○ ルート変更となってから利用者の状況に変化はあったのか。 ○ 乗合タクシーの利用について高齢者層にどのように周知しているか。

質問者	質問方式	質問概要
廣田（清風会）	一問一答方式	<p>1 学校教育環境検討事業について</p> <p>5月28日から11月28日にかけて教育環境に関する意見交換会が開催され、幼保14園の保護者が124人、保育士が144人、小中15校の保護者が164人、教師が112人、9自治区221人、3団体29人、計794人が参加され、多くの意見が交わされたが、小中学校再編計画の見直しに先立ち、事前に検討できうる課題と思われる次の4点について聞きたい。</p> <p>1 再編移行モデルスケジュールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童生徒の他校間交流や教材、衣服等の選定等 ○ P T A活動や規約の相違に対する調整方法の確立等 <p>2 スクールバスの運用ルールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 雨天降雪時を考慮した集合場所の選定 ○ 通学距離や時間、登下校の安全確保のために柔軟なルールの策定 <p>3 地域コミュニティー構築に向けた生涯学習の充実について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 公民館で生涯学習を中心とした地域コミュニティーの充実 ○ 各小学校の特色ある学習を公民館へ移行 <p>4 中学校と小学校の再編方法の分離及び学区について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 意見の多くに中学校は市が主導し、小学校は地域主導で再編を進めていく意見が多く見受けられるが、考えを聞きたい。 ○ 部活動を含め学区の見直しを望む声が多いが、見解を聞きたい。

質問者	質問方式	質問概要
廣田（清風会）	一問一答方式	<p>2 乾側小学校の耐震補強工事について</p> <p>現校舎の東棟・西棟を解体し、その跡地に軽量鉄骨校舎を令和7年10月までリース方式により整備する方法を保護者、地区住民から了承を得たとされるが、下記の点について聞きたい。</p> <p>1 耐震補強計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成22年体育館の耐震補強工事を行った際に併せて校舎の耐震補強工事を行えなかったのか。 ○ 平成29年当初の耐震補強計画はどのようなものか、また南棟は含まれているのか。 <p>2 国庫負担、交付金について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ リース方式による整備に対する国庫負担、交付金はあるのか。 ○ 現校舎を耐震補強した場合の国庫負担、交付金はあるのか。 ○ 国庫負担、交付金による交付要件はどのようなものか。 <p>3 耐震補強工事について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 校舎に居ながらにして行う耐震補強を多く活用し、工期の短縮を図っている事例が多い。また大野市でも開成中学校（仮校舎建設）以外は居ながら耐震補強されていると思われるが、そのような検討はしたのか。 ○ 東、西棟校舎（解体部分1,479平方メートル）を減築して、必要な規模（670平方メートル）だけ部分耐震補強することはできないのか、またそれにより工事費も下がるのでは。 <p>4 学校周辺施設の今後の活用方法は</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 幼稚園や、公民館の耐震状況は。 ○ 南棟と幼稚園、体育館が単体として残るが、今後の活用方法は。 ○ 公民館との連絡路も併せて整備すべきでは。

質問者	質問方式	質問概要
高岡 (双葉会)	一問一答方式	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <hr/> <p>○ 行財政改革について、市長の基本概念と推進計画をお尋ねします。</p>
		<p>2 教育長の政治姿勢について</p> <hr/> <p>○ 教育長ご自身が考える学校再編についての考えをお尋ねします。</p>

質問者	質問方式	質問概要
<p>榮 （日本共産党大野市議団）</p>	<p>一括質問・答弁方式</p>	<p>1 小中学校再編計画について</p> <p>○ 小中学校再編計画について、再編計画の見直しの検討が、再編計画という名の統廃合計画ありき（優先）にならないように求めて質問する。</p> <p>○ 「乾側小学校の耐震対策」について、校舎のリース方式は、あくまでも仮校舎となるが、木造の本校舎の新築に掛かる建設費等の検討は、されたのかどうか質問する。</p>
		<p>2 上下水道について</p> <p>○ 「上下水道の公営企業会計への移行」について、総務省の指導によるものがありますが、その意図はどこにあると考えているか。</p>
		<p>3 学校給食でのパン食におけるグリホサートの含有はないか</p> <p>○ 農民運動全国連合会の食品分析センターが今年度、輸入小麦を使ったパンの多くから発がん性が高いと言われている農薬グリホサートを検出し、農水省の調査でも、アメリカ産・カナダ産小麦の90%以上から、グリホサートが検出されました。収穫目前で農薬を散布する、省力化農法が広がっているためですが、大野市の学校給食でも週一のパン食が採用されていますが、注意されているか。</p>
		<p>4 公共施設の使用料の改定について</p> <p>○ 大野市民の利用に寄与する施設と市外から利用者の多い施設の使用料の見直しを中心にしたとのことであるが、使用料の改定による歳入の増加をどれくらいと見込んでいるか。</p>

質問者	質問方式	質問概要
<p>松本（新風会・公明党）</p>	<p>一問一答方式</p>	<p>1 大野市手話言語条例施行後の取り組みについて</p> <p>大野市において、手話言語条例が施行されて1年余りが経過した。その間の取り組みについて聞きたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市長は、手話言語条例施行後の取り組みについて、どのような評価をしているのか。 ○ 手話への理解の促進及び手話の普及について、どのように実施したのか。 ○ 手話が言語として認識されるように、どのような啓発活動を行ってきたのか。 ○ 市民が手話を学び、手話に対する理解を深める機会の確保をどのようにしたのか。 ○ 手話による意思疎通を図ることができる環境の整備を資するように、どのようなことを実施してきたのか。 ○ 手話、要約筆記その他の意思疎通支援を活用し、聴覚障がい者の特性に応じた円滑な意思疎通を図ることができるように、どのような措置を講じているのか。 ○ 総務省が令和3年4月から電話リレーサービスを公共サービスとして導入する予定である。大野市で先行導入する考えはないか。 ○ 以上の取り組みにおける現状の課題をどのように捉えているのか。また、その対策についてどのように考えているのか。
		<p>2 災害時の停電対応について</p> <p>近年、想定を超える自然災害が多発している。 台風15号及び19号に伴う千葉県における被害状況が、被災者生活再建支援法に定める自然災害に該当すると認められたため、千葉県内全域に同法の適用がなされた。 特に停電事故については、メディアで報道されたように甚大な被害が発生した。 そこで、大野市における災害時の停電対応について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 非常用発電機の設置状況を伺う。 ○ 上下水道設備が停電した際の対応はどのようにするのか。 ○ 防災行政無線が停電した際の対応はどのようにするのか。 ○ 避難所退避中に停電が発生した場合の避難誘導はどのようにするのか。

質問者	質問方式	質問概要
野村（日本共産党大野市議団）	一問一答方式	<p>1 防災について</p> <p>台風15号・19号等は死傷者が出たほか、強風の被害及び大雨による河川の氾濫など多大な被害が発生しました。</p> <p>○ このような被災状況から何を教訓としたか、そうした場合の市の課題は何か、ハード・ソフト両面から答弁を求める。</p> <p>2 各施設の使用料などの値上げについて</p> <p>○ 各施設、会館等の観覧料・入館料、各書類の発行手数料、バンガロー・テントサイト・ログケビン等の使用料、ホテルの宿泊料、数々の値上げ案が出されているが、市民に納得のいく説明を求める。</p> <p>3 子どもの医療費無料化について</p> <p>子どもの医療費完全無料（500円の負担を無くす）、高校生までの医療費無料化について</p> <p>○ 現在、子どもの医療費助成は、国が3歳まで、県は9歳までとなっており、あとは自治体負担で賄っている。国や県に医療費助成拡充を要求し、市の医療費無料化を高校卒業までに拡充すべきではないか。</p>

質問者	質問方式	質問概要
ダニエル（無会派）	一問一答方式	<p>1 現状の児童数の乾側小学校に約2億5,000万円掛けて校舎を建設するよりも、近隣校と合併した方が無用のハコモノ建設を防げるのではないかと</p> <hr/> <p>○ 市民の大多数がこの市教委の学校建設案に反対しているだけでなく、ごく一部を除いた乾側地区の多くの住民も反対しているようだが、市教委の見解はどうか。</p> <p>○ 市教委の数回にわたる地元住民との対話集会、説明会においても、参加者は20人以下であり、市教委案は住民の総意が得られたものだとは思えないが、市教委はどう思うか。</p> <p>○ 乾側小学校から有終西小学校と下庄小学校までの距離は、それぞれ2.3^{キロメートル}であり、バスを使えば問題なく児童は通学できる。無用のハコモノ建設に税金を使わなくても、適切な学習環境を児童に提供できるのではないかと。</p> <p>○ 今後、乾側小学校の児童数は今以上に減ることが予想されており、増えることは想定しにくいと思うが、市教委の見解を伺いたい。</p> <p>○ 地方自治法第2条第14項には、「地方公共団体は、その事務を処理するに当たっては、住民福祉の増進に努めるとともに、最少の経費で最大の効果を挙げるようにしなければならない」と書かれているが、この市教委案がこの法律にのっとっているかどうか、市教委の見解を伺いたい。</p> <p>以上の観点から、市教委の補正予算案には賛成できず、早急に近隣の小学校と統合することが望ましいと考える。</p>

質問者	質問方式	質問概要
ダニエル（無党派）	一問一答方式	<p>2 「越前おおの水のがっこう」は建設不要な施設ではないか</p> <hr/> <p>○ 市民は、そのような施設がなくても水について勉強したいと思えば、図書館や公民館で水について学べるのではないかと。</p> <p>○ 大学の研究者が大野に来て、水について調査・研究する時も公民館やイトヨの里の研修施設を利用すれば、それで間に合うのではないかと。</p> <p>○ COCONOアートプレイスの例から推測しても、「水のがっこう」は観光客が大勢訪れるような施設には思えない。</p> <p>従って、水の研究に関する施設は、市民の税金を使って建設するほどのものではなく、条例の制定は必要ないと思われる。</p> <p>3 公立学校で「罵声を浴びせる」指導は容認されているのか</p> <hr/> <p>○ 現在の市の公立学校において、今の時代さすがに殴る蹴るといった体罰はないと信じているが、教員が大声で叱責（しっせき）することは容認しているのか。</p> <p>○ また、大声で叱責することによる教育的効果の有無について、市教委の考えを伺いたい。</p> <p>○ 大野市であるなしにかかわらず、教育関係者による罵声を浴びせるといった行為が、子どもたちに「自分より役職や年齢の下の者に罵声を浴びせてもよい」という手本を示してしまうのではないかと危惧している。最近では、家庭では配偶者に、職場では部下に大声でののしるといった行為がDV（ドメスティックバイオレンス）やパワハラとして認定される事例が続出している。大野市の児童・生徒が意見の違う他者に対し、間違ったコミュニケーションスキルを公立学校で学習しないよう市教委や学校関係者は配慮すべきだと考えるが、市教委の考えを伺いたい。</p>